

所 属	農学生命科学部	氏 名	丸居篤・泉完・東信行
課題名	有用水産資源のための小型魚に配慮した魚道設計技術の開発		

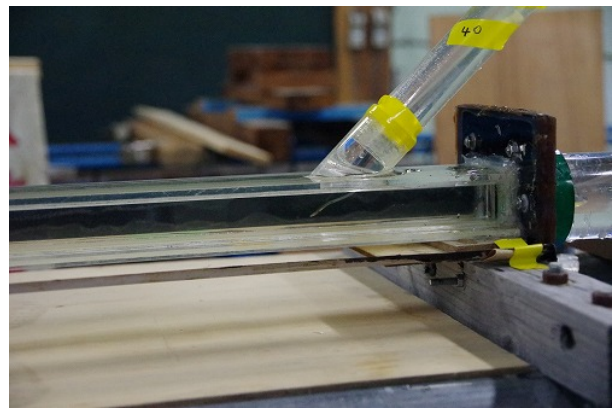
1. 概 要

魚類相の河口から上流への連続性を保持させるため、河川横断構造物には魚道が設置されています。しかし、有用水産資源である魚類の多くは、河口に近い下流域の魚道を利用する際は、小型の状態で遊泳能力に乏しいと考えられます。

本研究では、遊泳能力の虚弱な小型魚を対象にした遊泳能力（突進速度や限界遊泳速度）の解明を行っています。例えば、それぞれの魚の突進速度を明らかにすることで、それぞれの魚の遡上可能な（あるいは不可能な）流速が解明されます。また、小型魚を対象に既設魚道に設置できるアタッチメント型の簡易技術を検討しています。開発できれば堰の改修を行わずに小型魚が河川を遡上できるようになります。以上、青森県の水産資源の持続性と河川環境の保全に貢献することを目的としています。



(1) 実験対象の小型魚



(2) 実験水槽に供試魚を挿入し遊泳速度を測る

2. 画像の説明

- (1) 実験対象の小型魚
- (2) 実験水槽に供試魚を挿入し遊泳速度を測る